

平成 25 年度要員計画について

平成 25 年 4 月 22 日
関 西 支 社

1. 平成 25 年度初要員数

	駅	運輸	車両	施設	電気	その他	出向	新採者	計
基準人員	346	659	509	126	123	193	—	—	1,956
社員数	526	742	561	127	119	277	224	63	2,639

※その他は非現業を示す。

※社員数には専任社員を含む。

※新採者は関西支社で採用したプロフェッショナル職の短大卒、専門学校卒、高校卒を示す。

2. 平成 25 年度要員計画

(1) システム化・省力化等

現段階における平成 25 年度の施策は別紙の通り。

(2) 関連会社等の能力の活用

現段階における平成 25 年度の関連会社等の能力の活用に関する施策の計画はない。

(3) 出向計画

① 54 才に達した日以降の出向

各系統とも要員需給等を踏まえて 54 才以上の社員全員を対象として実施する。

出向予定数 約 20 人

② 上記以外の出向

必要に応じ個別に実施する。

(4) 採用及び退職

① 採用実績

採用系統	24年度初実績	25年度初実績
運輸	58 (25)	46 (14)
車両	10	10
施設	3	3
電気	4	4
計	75 (25)	63 (14)

※ () はプロフェッショナル職 (短大卒・専門学校卒) を再掲。

② 平成24年度退職実績

定年退職	その他退職	計
32	34	66

③ 専任社員数

平成24年度初専任社員数 231人 (うち出向 145人)

平成25年度初専任社員数 182人 (うち出向 110人)

(5) 乗務員養成

・養成計画数

運転士 約50人

車掌 約70人

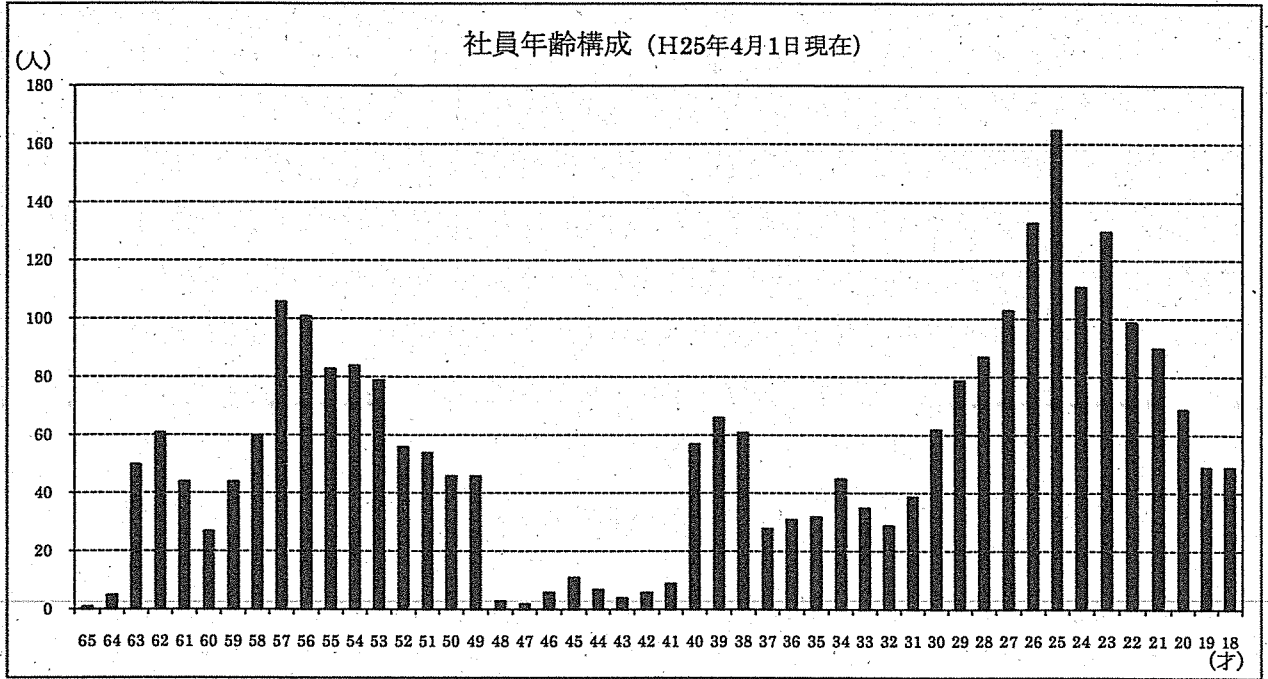
・養成時期 平成25年5月以降順次

(6) 乗務員から駅への異動

・異動計画数 約20人

・異動時期 平成25年12月 (予定)

[参考]



平成 25 年度施策一覧

[システム化・省力化等]

施策件名	実施概要	要員計画
非現業部門における業務運営体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化の推進による非現業部門における業務運営体制の見直し (H25 定期異動日) 	△14
指定席管理業務の集約	<ul style="list-style-type: none"> 関西支社における指定席管理業務の新幹線鉄道事業本部への集約 …幹鉄+1のため全体増減±0 	△1
システム化・省力化等 合計		△15

※ 「関連会社等の能力の活用」 についての計画はない。

平成 25 年 4 月 22 日
関 西 支 社

非現業部門における業務運営体制の見直しについて

非現業部門において、下記のとおり業務運営体制を見直す。

記

1. 目的

業務の効率化を推進することを通じて、各自が高い視座、広い視野、幅広い識見を習得していく環境を整え、今まで以上に創造的業務や本来非現業部門として注力すべき業務に取り組める体制を構築し、もって非現業部門の更なる体質強化を実現する。

2. 施策概要

現行業務及びその進め方の見直しや改善の積み重ねなど種々の業務効率化の取組みにより、以下のとおり非現業部門の業務運営体制の見直しを行う。

実施箇所	要員増減
関西支社	△14

3. 実施期日

平成 25 年度定期異動日

なお、本期日以降も継続的に非現業部門の業務効率化による業務運営体制の見直しに取り組んでいく。

以上

平成 25 年 4 月 22 日

関 西 支 社

指定席管理業務の集約について

関西支社において、下記のとおり業務運営体制を見直す。

記

1. 実施概要

現在、新幹線鉄道事業本部、関西支社それぞれで行っている指定席管理業務を新幹線鉄道事業本部へ集約し、業務の効率化を図る。

2. 実施箇所

関西支社 運輸営業部 営業課

3. 要員計画

実施箇所	要員増減
運輸営業部 営業課	△ 1

4. 実施期日

平成 25 年定期異動日

以上

平成 25 年 4 月 22 日
関 西 支 社

大規模改修工事に伴う体制について

関西支社において、下記のとおり業務運営体制を見直す。

記

1. 実施内容

東海道新幹線の土木構造物の健全性を維持・向上することを目的に、以下の体制にて大規模改修工事を実施する。

2. 実施箇所

関西支社 工務部
各保線所

3. 要員体制

実施箇所	要員増減
工務部 施設課	+10
工務部 電気課	+4
各保線所 ※4所合計	+14

4. 実施期日

平成 25 年度定期異動日

以上